

こころざし

修学旅行を通して感じたこと (事後アンケートより抜粋)

<1組>

3年生になってあまり時間がたっていない、それまで接点がなかった人とも修学旅行を通してクラスで仲良くなることができたのでよかったです。また、日本を代表する施設や場所ですっかり学習することができたこともよかったです。

「1UP」できたと思います。目標は達成できただけホテルでの過ごし方はとても反省しています。私たちの部屋(アスミ、カエテ、カナウ)はアラームのつけ方を間違っていたり寝るのが遅かったりで、翌朝寝坊してしまいました。でも3日目の朝は5時に起きて、食堂に一番乗りで来ることができたので、よかったです。 *これが「失敗を生かす」ということです。大事なことを学びましたね。立派です。(小西)



<2組>

やっぱりみんなが昨年より成長してみんなのことを気遣う人になっていた。集合時間もほとんどの人が間に合っていて、がんばりがいがあった。

仲良しの人とも初めて話した人とも楽しく行動ができ、うれしかったです。いろいろな制限がある中、ルールを守りながらいかに楽しめるかが大事だと思います。つまらないではなく、自分から楽しむことが大切だと思います。決断力が大事で、それを使ってうじうじせず頑張れたと思います。本当に最高だったと思います。実行委員さんや学級委員さんに感謝します。本当にありがとうございました。

<3組>

1年のころよりも全体的に成長したと思う。1日目は慣れておらずまだ気分をコントロールできなかった。ただ2日目以降はちゃんと行動することができたと思う。私はこの3日間でまた一つ新しいことを学べた。「1UP」することができた。あと少しの中学校生活もこの調子で頑張りたい。

東京で班員と協力しながらいろいろな所へ行き、たくさんの歴史を知ることができました。また一緒に過ごして前よりも絆が生まれ、みんなと「1UP」することができたと思いました。

<4組>

とても疲れてしまった。しっかりと休みを取ることが大事ということが分かった。同時にとても楽しかった。たくさんのトラブルがあったが、それをしっかりと解決していくことができた。このまま学年の団結力をさらに深めていきたいと思った。中総体はすべて「1UP」以上できるようにしたい。

慣れない土地で自分一人では絶対にできなかったことが、班のメンバーとならでることがあった。困ったときは人に頼るのも大事だと思った。江の島水族館に行くまでに道がわからなくなってしまった時、地元の人が優しく教えてくれて、温かい気持ちになった。

<5組>

とても有意義で楽しい修学旅行でした。首都についても学ぶことができて一石二鳥でした。狭い土地に人がたくさんいて、ビルや地下鉄がありました。

先生や大人の力をあまり借りず生徒だけで行動すると、不安や心配もあったけど、自信がついた。